

製品名: FAK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80540**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	FAK
別名	FAK; FADK; FAK1; pp125FAK; PTK2
遺伝子 ID	5747.0
SwissProt ID	Q05397
免疫原	大腸菌で発現した FAK の精製された組み換え断片。

背景

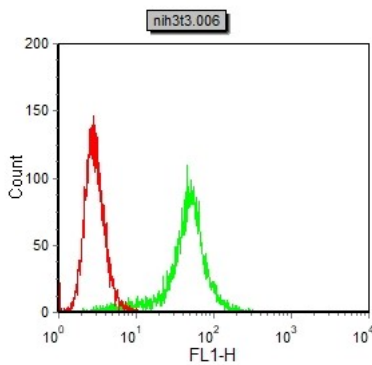
接着斑キナーゼ (FAK) は、1074 個のアミノ酸からなるタンパク質 (約 118 kDa) で、タンパク質チロシンキナーゼの FAK サブファミリーに属しますが、他のサブファミリーのキナーゼとの配列相同性は顕著ではありません。FAK は、熱傷の修復において活発に移

動・増殖する基底角化細胞の基底縁にのみ集中しており、培養下では拡散する角化細胞の接着斑において活性化され局在します。そのため、FAKは生体内でヒトの創傷の上皮化において重要な役割を果たすと考えられています。また、FAKタンパク質チロシンキナーゼの活性は、Gタンパク質共役受容体を介して作用する神経伝達物質や有糸分裂促進性神経ペプチドによって増殖が刺激された細胞においても増加することが示されています。

研究分野

PI3K-Aktシグナル伝達経路

画像データ



FAK マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。